



『阿賀に生きる』(撮影) / 『チョココレ!』
小林茂 監督作品

風の波紋

山形国際
ドキュメンタリー映画祭2015
正式招待
日本映画撮影監督協会
第24回 JSC賞

撮影 松根広隆
現場録音 川上拓也
音響 菊池信之
編集・アソシエイトプロデューサー 秦岳志
編集協力 山崎陽一
音楽 〓 めざめるとき 天野季子 作詞・作曲・歌
プロデューサー 矢田部吉彦 長倉徳生
後援 〓 「小林茂の仕事」O.T.スケ隊
助成 〓 森文化庁文化芸術振興費補助金
製作 〓 カサマフィルム 配給 〓 東風
2015年 / 99分 / DCP / カラー / 日本

えちごつまり
越後妻有の里山暮らし。



風がおしえてくれたこと。
いのちと暮らす、いのちを食べる。



ふつうの桜でも
綺麗に染まるんだけどね

田んぼはね、
ハマるんですよー



使い方がわからないから農業は使わない



羊刈きの季節に、枝の折れた山桜を発見!

舞台は越後妻有の里山。この雪深い村に都会から移り住んだ木暮さん夫婦は、茅葺き屋根の古民家を修復し、見よう見まねで米を作って暮らしてきた。ゴリゴリと豆を挽いてコーヒーを淹れ、野山の恵みを食卓にならべる。草木染職人の松本さんは、山桜で染めた糸を夫婦並んで手織りする。色鮮やかな着物が仕立てあがるころ、娘さんが成人式を迎えた。

積雪が4メートルを超えるこの土地では「雪かき」を「雪掘り」と呼ぶ



好きな食べ物は、ごはん。



コシヒカリの里だからね

悠々自適、気ままな田舎暮らしに見えるけれど、ときに自然はきびしい。冬ともなれば雪がしんと降り続け、来る日も来る日も雪かきに追われる。ひとりでは生きられない。茅葺きや稲刈りも協働作業だ。木暮さんのまわりには不思議と個性ゆたかな仲間が集まり、ことあるごとに囲炉裏を囲んで宴がはじまる。歌と笑い、もちろんお酒もかかせない。そうやって、ここでは新しいかたちの「結」がゆるやかに息づいている。



レーザーディスクのカラオケも健在

ある春の朝、大きな地震がおきた。木暮さんの家が全壊したが、彼は再建を決意する――。

『阿賀に生きる』『阿賀の記憶』のスタッフたちが見つけたドキュメンタリー映画の新たな地平



手間を惜しまず丹念に育てられた米や野菜が、私たちの日々の暮らしを彩るように、心をこめて作られた一本の映画が、人生のたいせつな糧となることがあります。『風の波紋』は、『阿賀に生きる』『阿賀の記憶』のスタッフたちが5年の歳月をかけて、じっくりと作りあげた映画です。ぜひ劇場のスクリーンでご堪能ください。



山羊はかわいいけれど、
ごちそうにもなる。
薬で炙ったタタキは絶品



風の波紋

fb.com/kazenohamon.movie @kazenohamon www.kazenohamon.com

『風の波紋』応援団募集中! テラシ、ポスターの配布や前売券の販売協力をしていただける《応援団》を募集しています。詳しくは東風(とうふう)までお問合せください。
●Mail. info@tongpoo-films.jp ●TEL. 03-5919-1542(平日11:00-18:00) ●FAX. 03-5919-1543

3月19日(土)よりロードショー

全国共通特別鑑賞券 ¥1,300(税込)発売中

劇場窓口でお買い上げの方には、草木染職人・松本さんの手作り菜をプレゼント! (数量限定)
当日一般 ¥1,800 | 大学・専門学校生 ¥1,400 | 会員・シニア ¥1,200



渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE

03(3461)0211 eurospace.co.jp
11:00 | 13:10 | 15:20 | 18:40

